

# 日本キャンドル協会 (JCA) 認定 キャンドルインストラクター

資格取得後に認定校  
制度の審査を通れば  
協会からサポートを  
受け開業が可能に。

魅力も作り方も奥深い  
飾っても、灯しても  
美しいキャンドルを  
たくさんの人に伝えたい。

思いのままに作れる  
キャンドルに  
可能性を感じた!

キャンドルアトリエ自由が丘の Yuukiさんは、資格取得前はアロマショップ&スクールのセラピスト兼インストラクターだった。「アロマキャンドルのワークショップをしたとき、キャンドルの自在性に可能性を感じたんです。きちんと学ぼうと、資格取得を決意しました」アロマショップで働きながら毎日1レッスンずつ認定講座へ通い、約3か月で修了。思いのままの色、形、香りで作れるキャンドルに、すっかり魅了された。その後、認定校制度に申し込み、審査を受けたという。

「審査では、講師基礎研修の受講のほか、コンセプトや集客プランなどの開校計画を提出し、設備環境やオリジナルレシピなどのチェックを受けます。私の場合、ショップを任されていた経験から開校計画には自信がありました。が、どんなメニュー

Yuukiさんの作品は、自然を感じさせるものが多い。資格の勉強を通じて、自分ができるキャンドルを作りたいのが気持ちだ。



## どんな資格?

社団法人日本キャンドル協会が認定するインストラクター資格。合格後、認定校・推奨校制度に申し込んで審査に通れば、JCA認定校または推奨校としてキャンドル教室を開校できる。協会の提携ハンドメイドマーケットサイトの優遇サービスもある。

## どう学ぶ?

JCA認定キャンドルアーティスト資格認定後、インストラクターコースを受講。最後の実技試験を通してキャンドルスクールを運営する上で必要不可欠な知識、ノウハウ、レシピ制作スキルまでのすべての習得を認められると合格となる。

## どう稼ぐ?

YuukiさんのようにJCA認定校や推奨校として教室を開くか、イベントやカルチャーセンターなどのインストラクターとしても活躍できる。雑貨ショップやインターネットのハンドメイドマーケットなどで作品販売することでも収入を得ることができる。

## ここがおススメ

### 編集長の注目ポイント

震災以来、インテリアや癒しアイテムとしてキャンドルは注目を集めています。「自分で作ってみたい」という人も増えており、インターネットで「キャンドル」が検索される数は、年々増加。YuukiさんのようにSNSの活用が集客につながりやすい環境だといえます。この資格の特色は、協会がそういったデータを活用し、有資格者が開校するときはコンセプト立案や集客術などをアドバイスしていること。手厚いサポートが受けられるのは大きな魅力です。

で教えるのかといったコース内容の考案には苦労し、協会のアドバイスを受けながら完成させました」

協会主催の勉強会で  
役立つ知識や人脈を  
身につけられる

2014年5月に横浜でキャンドルアトリエをオープンさせたYuukiさんは、アロマショップ時代か

ら店の宣伝広告のために活用していたSNSで、情報発信を心がけた。「SNSでつながっていた前職でのお客様が最初の生徒さんになってくれ、そこから口コミやSNSで、生徒さんが増えていったんです。現在もSNSが集客の要。毎日必ず、ブログを更新しています」

オープンして3か月後には、Yuukiさんが大好きなエリアだという自由が丘へ移転。横浜からも通え

る距離のため、長く通ってくれる生徒さんは少なくないとか。「年数回、協会が主催するインストラクター向け研修会では、キャンドルに役立つ知識や人脈が身につく、刺激になっています。最近ではレッスンのほかにも、同じエリア内の他業種のショップと一緒にワークショップを開いたり、企業とコラボでギフトキャンドルを作ったりと、仕事が広がっています」



Yuukiさん

14年5月に資格取得。最初は前職で働いていたエリア・横浜で教室を開いて集客を図り、3か月後に自由が丘へ移転した。http://candle-atelier.jp/